

2025

地方創生 フォーラム

in

青森

どなたでも
参加できます

参加
無料

会場定員
150名

人口減少下での持続可能な

新たな地域コミュニティのあり方

2025
10/30 木

14:00~16:30 (開場13:30)

会場

ウェディングプラザ・アラスカ
4階 ダイヤモンド



YouTube Live配信あり

視聴には事前申込が必要です

事前申込はこちら▶▶▶

申込締切日 2025年10月27日(月)

※定員を超えた申込があった場合は先着順

留意
事項

・配信内容の録画や二次利用は固くお断りいたします。
・お知らせいただいた個人情報は当センターからの事務連絡および各事業のご案内等に利用させていただく場合があります。



プログラム

14:00 開会 挨拶

青森県知事 宮下 宗一郎

(一財)地域活性化センター理事長 林崎 理

14:10 ●基調講演 (60分)

『人口減少、少子高齢化の進む地域で、
どう自律的な地域づくりを展開するか』

徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 教授 田口 太郎 氏

15:10 休憩 (10分)

15:20 パネルディスカッション (70分) 質疑応答含む

●テーマ

『人口減少下での持続可能な
新たな地域コミュニティのあり方』

コーディネーター

弘前大学大学院 地域社会研究科 教授 平井 太郎 氏

パネリスト

奥津軽社中合同会社 代表社員 周布 祐馬 氏

三戸町地域おこし協力隊 三戸高校魅力化コーディネーター 村田 修子 氏

深浦町総合戦略課長 黄金崎 芳幸 氏

コメンテーター

徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 教授 田口 太郎 氏

16:30 閉会

主催： 青森県 一般財団法人地域活性化センター

テーマ

人口減少下での持続可能な 新たな地域コミュニティのあり方

人口減少や少子高齢化、価値観の多様化により、町内会や老人会などの従来の地縁型コミュニティだけでは地域課題の解決が難しくなっています。そこで注目されているのが、若い世代も含め、多様でゆるやかなつながりから生まれる「テーマ型コミュニティ」です。

本フォーラムでは、地域目線で研究・実践に取り組まれてきた徳島大学大学院の田口太郎教授による基調講演と、住民対話の実績が豊富な弘前大学大学院の平井太郎教授を迎えたパネルディスカッションを行います。ともに「持続可能な新たな地域コミュニティのあり方」を考える機会とします。

地縁型コミュニティ

地域や世帯のつながりを基盤とした、町内会・老人会・婦人会・こども会などの集まり。

テーマ型コミュニティ

世代や地域を超えて、「子育て」「防災」「環境」「趣味」など共通のテーマをきっかけにつながる新しい形の集まり。

講演者・コメンテーター



田口 太郎 氏

徳島大学大学院
社会産業理工学研究部 教授

早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。博士(工学)。
小田原市政策総合研究所特定研究員、早稲田大学助手、新潟工科大学建築学科准教授、徳島大学大学院准教授を経て徳島大学大学院教授(現職)。専門は都市計画・まちづくり。
総務省のこれからの移住・定住のあり方に関する検討会委員、内閣府の地方創生推進交付金のあり方に関する検討委員、農林水産省の長期的な土地利用のあり方に関する検討会委員などを歴任。自身も徳島県の過疎地域に移住し、生活者としての視点も持ちながら研究を進めている。

コーディネーター



平井 太郎 氏

弘前大学大学院
地域社会研究科 教授

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。
現在は弘前大学大学院地域社会研究科教授。専門は社会学(環境をめぐる合意形成)。
総務省の地域力創造アドバイザー、農林水産省の農村型地域運営組織(農村RMO)アドバイザー、全国の地域おこし協力隊の受け入れ態勢整備などに当たっている。

パネリスト



奥津軽社中合同会社 代表社員

周布 祐馬 氏



三戸町地域おこし協力隊
三戸高校魅力化コーディネーター

村田 修子 氏



深浦町総合戦略課長

黄金崎 芳幸 氏

お問い合わせ

一般財団法人地域活性化センター 地域創生・情報広報グループ
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋ブラザビル13階

TEL.03-5202-6136 FAX.03-5202-0755
Email. chiiki@jcrd.jp

青森県 交通・地域社会部 地域交通・連携課 総務・地域活性化グループ
〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1

TEL. 017-734-9147 FAX. 017-734-8027
Email. kotsurenkei@pref.aomori.lg.jp